

2023年度 日本工学院専門学校											
ダンスパフォーマンス科											
ライブステージ鑑賞 2											
対象	2 年次	開講期	前・後期	区分	選択	種別	講義	時間数	15	単位	1
担当教員	井口雅人/野中志乃			実務経験	有	職種	音楽プロダクション制作業務				
担当教員紹介											
ダンススタジオにて店舗運営管理・ダンサー育成業務・キャストینگ業務等幅広く実務を経験。マットピラティス指導者資格、コンディショニングコーチ認定などダンサーのセカンドキャリアに役立つ資格を有する。											
授業概要											
在学中に様々なライブイベントに参加し、客観的な視点で自分を見るスキルを修得する。また、スタッフ系学科の学生とコラボすることも重点におき、学生が作成したセットリストや演出プランを見て「自分だったこうする」と言う視点を持つ事、またそれをスタッフに提案する事。それを、踏まえた上で出演、または、ライブ鑑賞する。それが1年後の自分の姿を想像させる事につながる。パフォーマンス系の学生はステージに立つ上での立ち振る舞いや態度などを学ぶことに重きを置きながら出演、または、鑑賞する。ライブレポートとして担任に提出し、後日担任との個別面談も含めた指導の中で学生一人ひとりに応じた適切なキャリアプランを見つけて、目標に向けて努力して道筋を指南する。											
到達目標											
セルフプロデュースをアーティストに求められる時代になり、作詞、作曲、アレンジ、楽器演奏のみならず、ライブをオーガナイズする事。スタッフを招集し、ライブをプロデュースすることもアーティストとして大事なスキルになってきている。卒業後に迫る近い未来の想像を行う事で、目標を達成する為の事前準備、ネゴシエーションの大切さを認識させる。ライブ鑑賞を行った日までに何が出来ていないといけないのかを理解させ、学生一人ひとりの年次スケジュールを組ませ自らのキャリアプランに活かせるようにする。											
授業方法											
ミュージックカレッジが指定したライブイベントをに参加（出演または、鑑賞）して、全体を見渡した感想を後日レポートで提出する。学生から提出されたレポートを元に共通課題を見つけ出し、授業の議論課題とする。同じような悩みを常にクラスメートも抱えていることを知り、自由にその解決策や課題克服の為のスキルを共有する。											
成績評価方法											
レポート 平常点	30% 70%	ライブレポートを提出 出席点									
履修上の注意											
15時間に満たす鑑賞時間は担任との面談で設定して行く。ただしReal Dreams、修了ライブ、卒業ライブといった大事な場面では必修として鑑賞させる。提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は進級できない。											
教科書教材											
無し											
回数	授業計画										
第1回	新入生歓迎ライブ/片柳アリーナで開催される新入生歓迎ライブに参加										
第2回	サマーライブ 1 /赤坂BLITZで開催されるサマーライブに参加										
第3回	サマーライブ 2 /赤坂BLITZで開催されるサマーライブに参加										
第4回	サマーライブ 3 /Shibuya O-EASTで開催されるサマーライブに参加										
第5回	かまた祭ライブ 1 /片柳アリーナで開催されるかまた祭ライブに参加										

2022年度 日本工学院専門学校	
ダンスパフォーマンス科	
ライブステージ鑑賞 2	
第6回	かまた祭ライブ 2 /A-stageで開催されるかまた祭ライブに参加
第7回	かまた祭ライブ 3 /BOX stageで開催されるかまた祭ライブに参加
第8回	Real Dreams/片柳アリーナで開催されるReal Dreamsに参加
第9回	卒業ライブ 1 /赤坂BLITZで開催される卒業ライブに参加
第10回	卒業ライブ 2 /Shibuya O-EASTで開催される卒業ライブに参加
第11回	GEMSTONE SHOWCASE/片柳アリーナで開催されるダンスパフォーマンス科のイベントに参加
第12回	MU卒業ライブ/A-stageで開催されるミュージックアーティスト科のライブに参加